



行きます 聞きます 提案します!

～支援事例紹介～

滋賀県産オーガニック商品を世界市場へ

● 農業生産法人 有限会社 永源寺マルベリー  
～東近江市商工会～

〒527-0212 滋賀県東近江市永源寺高野町201  
TEL : 0748-27-0772 (FAX同じ)  
<https://eigenji-mulberry.com/>



上田長司 生産管理部長(左)  
吉澤克美 代表(右)

永源寺マルベリーは、永源寺の豊かな自然環境を活かし、健康食品の原料となる桑・明日葉を主体に生産から加工までを行う農業生産法人です。設立は2004年、過疎化と高齢化によって増えていた耕作放棄地を桑畑で復活しようという取り組みを機に、地域高齢者の雇用、障がい者支援施設との連携(農福連携)、産・官・学の連携を行いながら、自社で開墾した農地14ha(2020年1月現在)を基盤に事業を展開しています。

特徴は、徹底した生産体制と独自性のある商品づくり。薬効成分に優れた品種を選び、無農薬・無化学肥料で栽培し、葉は一枚一枚手摘みで収穫、健康長寿県・滋賀県産の原料にこだわった高品質の商品を開発しています。創業当初から販売する桑の葉を粉末加工した健康青汁「ミドリ」に「桑茶」に加えて、2017年には健康茶「桑と明日葉の恵み」を発売。商工会の支援を受けながら自社商品の販路開拓に力を入れ、青汁の原料となる桑粉・明日葉粉の製造卸売り部門の収益に頼らない経営を目指しています。



有機JAS認証取得が強い

2018年に経営革新計画の承認を受け新商品の開発にも取り組んでいます。

2019年発売の「近江健康青汁」は、滋賀県内で無農薬栽培される5種の植物をブレンドした新商品。通常、無添加での製造が難しいとされる青汁の商品化を実現した画期的な商品です。



無添加製法による新商品「近江健康青汁」

同社は有機栽培(オーガニック)食品であることを証明する有機JAS認証を取得していることも大きな特徴です。

自社のオンラインショップをはじめ、ホームページやメディアでのPR、各種補助金を活用した展示商談会・物産展にも出展、その一方でケールやモリंगा、月見草など栽培原料も増やしています。

「ノンカフェイン、オーガニック商品は需要の拡大が期待できる分野。健康志向の高い国や富裕層をターゲットに海外市場の開拓も始めています」と話す上田生産管理部長。吉澤代表も「国内人口が減少する中、今から海外に目を向けることは大事」と話し、今後も畑を守り地域に貢献すること、そして、自然の力、安全な商品の力で人々の健康に貢献していきたいと考えています。



耕作放棄地を開墾した農地は現在14ha

支援担当職員の紹介

東近江市商工会  
東近江市池庄町505  
TEL : 0749-45-5077  
担当：経営指導員 前田 能利



「自分たちが心を込めて作ったものを、自分たちの手で売りたい」という思いをお手伝いできることは嬉しく、前向きに事業に取り組まれているので、ご支援していて楽しく感じています。アグリフードエキスポなど展示商談会への出展を機にお付き合いが深まり、何でも話せる関係性の中で、これからもさまざまなご提案、ご支援を継続していきます。